

安全・安心・住みよいまちづくり

ネットワーク

第13号

発行日 平成23年12月15日
発行 白石地区
ネットワーク協議会
責任者 情報交流部会長
菱沼洋一郎

札幌市白石区本郷通3丁目北3-1 電話 860-1431



全国レベルの演奏を堪能

♪ 第4回まちづくりふれ愛音楽会開催

● 白石地区ネットワーク協議会 情報交流部会 部会長 菱沼洋一郎

10月1日（土）、白石地区ネットワーク会議・白石地区連合町内会主催の「第4回まちづくりふれ愛音楽会」が、白石中学校体育館を会場に開催され、参加者総数757名と過去最高の参加者を得て盛会裏に終了しました。

第4回目の今年の音楽会には、南白石小学校合唱団、昨年に引き続き今年も全道大会で金賞を獲得し、全国吹奏楽コンクールの出場権を得た白石中学校吹奏楽部、一昨年哀調を帯びたマンダリンの音色で人々を魅了した月寒高等学校マンダリン部、全日本吹奏楽コンクールに過去19回出場し、金賞11回の実績を誇り今年も20回目出場を果たす白石高等学校吹奏楽部と言う豪華出場校となりました。

等学校の代表として「全国大会アベック出場」という快挙の記事を見て、雨天にも関わらず多くの白石区民が来場し、全国レベルの演奏を堪能することができました。

当日、堀口洋一白石区長さんを始め、各種団体の代表、地区内の小、中学校の校長先生等が来賓として出席していただきました。



■ 「アベック出場」を報じた道新の記事

また、演奏会当日の北海道新聞 朝刊札幌版に「白石中、白石高吹奏楽部 全日本を前に きょう合同演奏会」の記事が載りました。白石区から「吹奏楽部の甲子園」と言われる東京の普門館で中学校、高



■ 白石高等学校吹奏楽部の演奏

今年の4月、「情報交流部会」の部会長を引き受けたばかりの私にとりまして、この音楽会の開催には、大きな不安がありました。

しかし、中澤会長、木村副会長を始め実行委員の方々の献身的なご協力を得まして、無事終了し、現在は安堵感、成就感の心境です。

音楽会の前日、当日と汗を流された協力員の皆さん、本当に有難うございます。そして来年も宜しくお祈りします。



第8回白石地区 いきいき健康まつりを終えて

● 白石地区連合町内会体育部長 鈴木 昭久

今年で第8回を迎えた白石地区「いきいき健康まつり」は9月4日（日）白石小学校体育館とグラウンドを会場に開催されました。

白石地区ネットワーク協議会の各種関連団体を始め白石地区連合町内会の各単町さんの大変なご努力によりまして、365名と多くの方々の参加を頂き盛会に終了する事が出来ました。ありがとうございました。

又、開会に際し白石保健福祉部立野部長様にも参加を頂き、ご挨拶と参加の皆さんへの激励を頂きました。

当日は残念ながら雨が降り始めた為グラウンドで予定してました「ペタンク」と「スカットボール」は中止をしまして、体育館で行っている各種目に挑戦して頂きました。大好評でした「歴しるべウォーキング」につきましては学校の教室において実施しました。



■ 健康まつり準備体操

体育館で行った種目は昨年同様「体力測定」「スカットボール」「キッズ・コーナー」「昔あそび」の4種目で「体力測定コーナー」と「スカットボール」は例年通り行列が出来る程で、

「キッズ・コーナー」は幼児と小学生が親子で楽しく参加をして頂きました。

今年新たに取り入れた種目は、健康などに関して保健師による「健康相談コーナー」と整体師による実技を含めた「整体健康体操コーナー」の2種目でしたが、何れも日頃より健康に関心を持っている人達が多かったと思います。

最後に恒例の「健康クイズ」では白石の歴史にちなんだ問題を織りまぜた出題でしたが、右だ左だと賑やかな内に問題なく終了しました。



■ なつかしい昔遊び

今年も実行委員として、4つのスポーツ団体・青少年育成委員会・社会福祉協議会・交通安全実践会・歴史を語る会・白石ばらの会・民生児童委員会・白石保健センターなど皆様のご協力によりまして楽しい1日を過ぎて頂けたのではないかと思います。

ご協力頂きました全ての関係の皆様にご心より感謝を申し上げます！！

9月24日（土）いきいき健康まつりの反省会を実施しました。出された意見等につきましては次回に反映させて頂きたいと思っております。



白石区防災訓練 実施状況について

● 白石地区連合町内会 副会長 加賀 靖之

1 はじめに

平成23年白石区防災訓練は、平成23年8月31日(水)午前9時15分頃、石狩支庁中部を震源とするM6.5の地震が発生し、札幌市では震度7が観測されたことを想定して、白石区役所主催、白石地区連合町内会が主体となって、次のとおり実施されました。

2 実施日時

平成23年8月31日(水)
午前9時20分から正午までの間

3 実施場所

南郷小学校グラウンド及び体育館
(本郷通4丁目南)

4 参加人数

グラウンド訓練188名、避難所開設訓練116名

5 訓練内容

(1) 第一会場(南郷小学校グラウンド)

グラウンド訓練は参加者全員が、プラカード前(A・B・C・D班別)に整列して、48名編成で交互に次の訓練を行いました。

- ①ガレキ下のけが人(ダミー人形)を救出し、その後応急手当を行ったのち、応急救護所(エアテント)へ搬送する「救出・救護応急手当訓練」。
- ②水バケツリレーと、消火器(水消火器)を使用した「消火訓練」。
- ③煙が充満する部屋からの脱出を想定した「煙道通過訓練」及び参加者(被災者)の町内

会名、氏名等の情報を記載する「被災者名簿等作成訓練」。

- ④土嚢を作成し積み上げる「水防訓練」。
- ⑤炊き出しの試食を体験する「炊き出し訓練」。

(2) 第二会場(南郷小学校体育館)

避難所開設運用訓練は、体育館学校開放入口前に集合し、行政担当者による建物の安全確認終了後開設し、その後グループ別に役割分担を決め、次の訓練を行いました。

- ①「救護班」は、車椅子の身障者救護訓練
- ②「給水班」は、貯水車から水を運び避難者に水を配付する訓練
- ③「食料物資担当班」は、非常物資を搬入して避難者に配付する訓練
- ④「避難者名簿作成」は、参加者全員が協力して氏名等の必要な情報を記載する訓練

訓練終了後、行政担当者から今回初めての訓練で大変参考になり、今後に活かして行きたいと講評がありました。

6 おわりに

本訓練は、大地震・災害を想定して、実際の災害発生状況を、イメージできるよう、会場に疑似倒壊家屋等が配置され、救出・救護応急手当訓練及び消火訓練、災害時要援護者に対する避難誘導訓練など、参加者が主体的に行動し、その対応を習得できる内容であると実感したことから、今後、関係機関と協力して単位町内会においても、実践して戴ければ幸いです。



■ 避難所開設風景



■ 救助訓練

湯ったり・のんびり 入浴ツアー

● 白石地区社会福祉協議会 副会長 長沼恵美子

9月16日（本通ブロック）17日（中央・南郷ブロック）101名の参加で社協恒例行事、入浴ツアーが行われました。多少の肌寒さはありませんでしたが、わずかな赤や黄の葉色に初秋を感じながら、温泉にもゆっくりつかり、穏やかな時間を過ごしました。美味しい食事と「幸せのしの字」探しにも夢中になったり、ビンゴゲームにもついわくわくしたり、カラオケでは自慢の“のど”を披露してもらいました。最後は皆さんで“ふるさと”を大合唱し、温かい気持ちになりました。小樽の市場で夕食の惣菜やお土産を買って、皆さん笑顔で帰途につかれました。

日頃の交流が災害時にも大きな力になることを信じます。



■ ふれあい入浴ツアー 会食風景



■ “ふるさと”の合唱で楽しむ

パソコン講座

● 白石地区ネットワーク協議会 情報交流部会 副部会長 平野 広美

例年は9月から11月にかけて開いているパソコン基礎講座を会場の都合で真夏の6月中旬から8月中旬にかけて開催しました。

今年度もワード・エクセルの基礎講座ということで始めましたが、8月にはいつてからは図の挿入など基礎から中級への内容になってきました。熱心な参加者（生徒？）の質問に講師があおられて、予定外の高度な技も出てくる場面もありました。時間の途中で10分の休憩の間も参加者のほとんどはパソコンから目も手も離さず、講師に質問攻め。その熱心さに我々スタッフも感心しました。

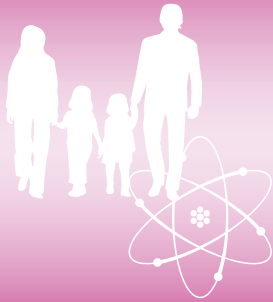
暑い中ほんとうにご苦労様でした。



■ 真剣に取り組む受講生



■ 抽選会に出席 当選するかな？



“環境と放射線と私たちの健康”

—— 福島第一原発事故から

● 白石地区ネットワーク協議会 青少年女性部会 副部長 松本 弥生

10月26日（水）白石会館において、札幌医科大学附属病院放射線主任技師である武田浩光先生にお話ししていただきました。文部科学大臣賞を受賞されている方であるのに、気さくで情熱的な人柄に感銘を受けました。

3月11日の東日本大震災では、巨大な地震・津波による甚大な被害に加え、さらに深刻だったのは、福島第一原発の事故により多くの放射性物質が放出されたことです。

武田先生が8月に福島原発内部に入った時、作業員の方はお風呂も入れず、食事も保存食、寝るのは雑魚寝という劣悪な環境の中、被ばくを測定するシールをつけてがんばっていたそうです。また、使用済み燃料の貯蔵施設が整っている国は世界で1カ国だけで、その他は貯蔵施設がないのに、原子力発電を行っているという現実にも驚きました。

被災地の農産物を買って復興に協力したい気持ちはあるものの、一度は安全宣言された米に

基準値以上の放射性物質が残留していたことを聞きます。放射線を出す能力を「放射能」といい、この能力を持った物質のことを「放射性物質」といいます。受けた放射線の量によって、身体への影響は異なります。その単位をシーベルトと言う単位で表されます。自然の中にも、食品にも微量の放射性物質は存在していて、医療にも使用されています。しかし、それは体内に影響を与えない微量なものです。シーベルトと聞いて、敏感に反応するのは問題があります。

より正確なチェック体制の整備を願わずにいられません。東京では、夏期の電力不足の対応策で計画停電が実施されました。電力会社の「やらせ問題」は九州のみならず、北海道でも問題となっています。

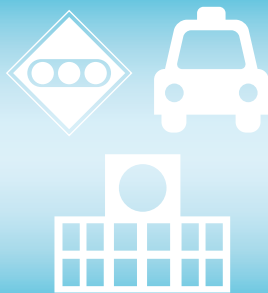
私たちの生活は電力に頼りすぎてはいないが、発電方法を見直すなど、今一度振り返り、このような事故を再発させない対策を確立させなければなりません。



■ 研修会開会あいさつ



■ 研修会風景



8年目を迎えた 通学パトロール隊

● 白石地区ネットワーク協議会 青少年女性部会 部会長 石藤 政昭

「地域の子どもは地域で守る」をモットーに白石地区ネットワーク会議（現在は協議会）青少年女性部会が中心となって、平成16年5月にスタートしました。ネットワーク協議会構成団体より5団体、小学校PTA、23単町防犯・交通安全部、横山製粉株式会社、地域協力員の方々に支えられて、小学校5校の児童生徒を変質者・不審者(車)から守ることを目的に活動してきました。

平成19年には、懸案でした「青色回転灯装備車」を導入しパトロール強化に一役買ってきています。各学校のパトロール隊は週1回、指定

のベストと帽子を着用し生徒の下校時学校に集合し、通学路や付近の公園を約1時間パトロールしてきました。この間、大きな事故もなく、通学パトロール隊の制服であるオレンジのジャンパー（現在は3代目でベストになっています）が広く地域住民の間に「抑止力」として浸透しています。今後とも皆様方の暖かいご理解・ご協力をお願い致します。

◎23年度「通学パト隊実施報告会」終了

本年度も、白石警察署、小学校5校の全面的な支援のもと「地域の子どもは地域で守る」という所期の目的を達成できました。今回は、白石警察署生活・安全課、小川係長様から、今年度の白石区内の不審者による声かけは15歳未満では34件、13歳未満では17件の報告があり、「下半身露出」「体に触る」など、いつでもどこでも起こりえる事柄でした。また、警察の巡回も限度があり地域住民の協力が不可欠で、今後も引き続き住民の鋭い「目」を期待したい等の講話を頂き終了してきました。



■ 南郷小学校前にて通学パトロール説明



■ 指導員の話当真に聞く子供たち



■ 通学パトロール風景



町内会創立40周年 記念行事について

● 白石中央南親交會會長 岩澤 昌策

この程、当町内会は創立40周年を迎え、去る10月16日白石会館にて記念式典並びに祝賀会を開催しました。創立は昭和47年4月でこれまで、白石中央東親交會に所属していたが札幌が政令指定都市になったのを契機としかつ、地域が急速に発展した事を踏まえ分離独立しました。エリアは国道十二号線の南側本通1丁目、2丁目の南及び本郷通1、2丁目の南北であります。会員は現在約1,000名に達しております。

当日は会員の他白石区長、連合町内会長、及び本通ブロックの町内会長等77名の方々が参会しました。式典は岩澤会長挨拶、来賓の白石区長、白石連合町内会中澤会長、柴基實顧問の祝辞を頂きました。更に町内会役員として貢献された21名の方々の表彰を執り行いました。式後、当町内会の太鼓グループ13名が元気よ

く祝太鼓を演奏し、そして白石中央東親交會加賀会長の音頭で宴に入りました。

アトラクションは会の40年を祝い同時に白石会館37年の歴史を閉じる感謝を込め、ジャズで著名な須山恭一率いるクインテットが約2時間にわたり熱演し大いに盛り上がりました。

最後にまちづくりセンター竹内所長の万歳三唱で賑やかに終了しました。



■ 岩澤会長のあいさつ



■ 太鼓グループ「鼓童」祝太鼓演奏



■ 須山恭一率いるジャズ演奏

子育てサロンでの 小学生との交流

● 白石地区 福祉のまち推進センター 運営委員 平野真智子

11月10日に開催した『ぽかぽかサロン』（南郷小学校のミニ児童会館で毎月1回開催）、休み時間に20人程度の南郷小学校の生徒が遊びにきてくれました。自由参加のようでしたが担任の先生も来てくださいました。サロンに来ていた乳幼児のお母さんに赤ちゃんを抱かせてもらう生徒と一緒におもちゃで遊ぶ生徒、初めて赤ちゃんを見たという生徒もいました。にぎやかな15分を過ごしました。

これまでも数人の小学生が休み時間に担任の許可を得て乳幼児の顔を見に来ることは何度かありましたが、クラス全体の参加は初めてでした。又、初めての試みとして、乳幼児のお絵かきも実施しました。

いつもは「面倒をみてもらう」立場の小学生も短時間ですが「面倒をみる」立場で幼い子どもたちに接していたようです。



■ 子供のお絵かき風景



■ 小学生と乳幼児のふれあい

お知らせ

— 白石会館仮移転に伴い —

『白石地区社会福祉協議会』『白石地区ネットワーク協議会』
住所・電話・FAX、以下の通り変更となります。

住所：白石区本郷通3丁目北3-1
「水道局 白石庁舎1階」

白石地区社会福祉協議会

電話：865-6222 / FAX：865-6222

ネットワーク協議会

電話：860-1431 / FAX：860-1431

*業務は、平成23年11月25日(金)より実施しています。

行事予定

平成24年

1月4日(水)

白石区新年互礼会 於：札幌フローラ

1月6日(金)

白石地区合同新年交礼会 於：アサヒビール園

1月12日(木)

雪であそぼう in 南郷 於：南郷小グラウンド
・主催 ネットワーク協議会

編集後記

平成23年もあとわずか、ネットワーク協議会情報交流部会の事業も情報誌「ネットワーク」13号を発行するだけとなりました。今年度初めて代表をつとめ「ネットワーク」12号の発行、「ふれ愛音楽会」の開催は多数の観客のご来場をいただき無事終了する事ができ、また「パソコン教室」も何とか終了いたしました。どの事業も不慣れのため会員皆様、事務局の力をお借り致したこと心より感謝いたします。

今年は東北地方に多大の被害をもたらした大震災では多くの犠牲者、被災者を出したこと心よりお悔やみお見舞い申し上げます。来年は今年の悲しみ、つらさを乗り越え飛躍の年となるよう、また会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

情報交流部会長 菱沼洋一郎